

子どもゆめ基金20周年記念事業

TOKUJI OUTDOOR WEEKEND

〈令和3年10月30日(土)～31日(日)〉

【目的】

これから家族でのキャンプを始めてみたいと考えている、小学生の子供がいる家族をターゲットに、親子で楽しみながらキャンプの基礎的な技術に加え、キャンプをする際のルールとマナーを学ぶ機会を提供する。

【参加者】5家族18名、法人ボランティア3名

【プログラムの内容】

1日目

- 13:30 オープニング
- 14:00 (子供) 探検! ネイチャーゲーム
(大人) キャンプの基礎知識講座
- 14:45 テントを建ててみよう!
- 16:15 テントサイトで遊ぼう!
- 17:30 夕食(食堂)・入浴
- 19:30 たき火であつたまろう!

2日目

- 7:00 アウトドア料理に挑戦!
- 8:30 キャンプのお土産をつくろう!
- 10:00 テントを片づけよう!
- 11:45 クロージング・解散

「探検! ネイチャーゲーム」



自然のなかに隠されたアイススティックを探す活動を通して、自然物をじっくり見たり触れたりした。集めたアイススティックの本数を、はじめて出会った参加者同士で数えるなど、参加者同士がうちとけるきっかけづくりとなった。

「たき火であつたまろう!」



キャンプの夜の活動として、家族ごとにたき火を行った。自分たちで薪割り・火おこしをしたり、マッシュマロを焼いて食べたりした。参加者は、キャンプならではの、夜の暗闇の中でのゆっくりとした時間を過ごしていた。

「テントを建ててみよう!」



参加者自身が寝るテントを建てる活動を行った。テントを建てるのに適した場所探しから始まり、実際にテントを建て、自分たちの居場所をつくる過程で、テントの使い方を学ぶ機会となった。

多くの参加者にとっては初めての体験であったが、安全に留意しながら家族で協力してテントを建てる姿がみられた。

「アウトドア料理に挑戦!」



手軽な野外炊飯メニューとして「カートンドッグ」づくりに取り組んだ。夜中に降った雨も上がり、朝の澄んだ空気の中、家族で試行錯誤しながら、初めての野外炊飯にも一生懸命に取り組んでいる姿がみられた。

【参加者の声】

- ・ゆったりがとても良かったです。とても気持ち良く2日間を過ごせました。
- ・初めてのキャンプ講座として、基本的な事を学べてよかったです。ぜひ、基礎編第二弾も良いと思います。
- ・またキャンプをしてみたいと思いました。とても楽しく、家族でゆっくりできた2日間でした。
- ・より自然を学ぶカリキュラムがあるとより充実すると思いました。
- ・夕食作りもしてみたい。山菜やキノコ探し、とって料理してみたかった。

【成果】

- ・初めてキャンプをする家族向けの事業として、ゆとりのある日程の中で基礎的な知識・技術を伝えることができた。
- ・アンケートの結果、全5家族が事業全体をとおして「満足」と回答をいただいております。参加者満足度の高い事業となった。また、「次の機会にやってみたいこと」に多くの回答があり、参加者にとってキャンプへの期待感を醸成することができたと考えられる。

【課題】

- ・今回の参加者の期待にもあるように、本事業と同種の事業を継続的に実施しながら、環境学習や野外炊飯のレベルアップなど、内容の充実を図っていくことが望まれる。